

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	スーパー（店長）	来客数の動き	・自店から2キロメートルほどの距離に、新規の競合他社が出店し、さらに、そのすぐ近くに競合他社が閉店した。そのことによると思われるが、来客数が増加に転じ始めている。
(東海)	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・この季節は、寒くなってくると商品が動くため、良いのか悪いのか一概には言えないが、景気はやや良い。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・当地では遷宮を控え、参拝客数が増えている。そのお陰で、やや良い。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・クリスマス・歳暮需要の来客が増えてきており、全館通してにぎわいを見せている。それに伴い売上高も堅調に推移している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・今月の平均気温が前年同月より低く、生鮮食品では野菜を除く鮮魚・生肉、加工食品の鍋物、冬物商品がよく売れている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・寒冬となり暖房機の売行きが堅調である。タブレットPCの売行きも良い。テレビの売上減少を補っている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・冬支度に入ったため、やや良い。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・11月後半の週末だけであるが、多少来客数の動きが増えている。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・現在のデフレ経済下で強い会社の宿泊が多いように思う。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・短期的には、レジャー、ビジネスとも宿泊需要は高い。宴会需要は、依然として低迷している。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・年末年始の申込が例年より悪い気がするものの、韓国・中国向けが少しずつ回復傾向にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・タクシー代を惜しまない富裕層の利用が、11月後半になって増えてきている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・料金の値下げによって、申込が増加している。
		ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月の来場者数は、ほぼ予算どおりである。10月、11月はゴルフシーズンでもあり、予算も高くなっているが、予定どおりの入場者数のため、良く入っていると言える。天候にも恵まれ、10月、11月と順調である。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年、歳暮時期を迎え出荷量が増えるが、今年に限っては9月以降の落ち込みをカバーできず、前年同月比5%ほど減少している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・会社関係・事業所関係等、仕事関係の来客数が本当に少なくなっている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・まだまだ食品業界には不況風が吹かない。
		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・景気の良いときは、例えばかぜ薬の他にプラスワンで栄養剤などが売れたが、最近は必要最小限の小包装が主に売れ、なかなか客単価が上がらず、売上も増えない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・連休時は大混乱するほどの人出であったが、それ以外の時期は人出が少ない。人の気持ちも冷めている。売上が前年同月を5%ほど割り込んでいる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・例年この時期は路地に花が咲くので生花があまり売れないが、今年はそれが顕著である。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店への来客数が依然として悪い。改善する材料が見出だせないところが多い。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今までと変わらず、購入には慎重で、必要最低限の物しか買わない。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・11月になり、気温も低下して冬物衣料品がようやく動き出している。お歳暮商戦が本格的にスタートしたが、来客数・客単価共に減少・下落傾向にある。総選挙等の影響も今後出てくる。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・高額品や期間限定の販売物を扱う競争相手が近隣になく、変わらず好調である。その他は、今必要な物しか購入しない状況である。

百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・来客数は前年同月比で微増である。商圏内の来街者は前年同月並みであり、また、周辺の大型商業施設も前年同月比増加で推移している。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・もっと良くなると期待していたが、変わらない。近隣の観光施設の駐車場がすべて有料になったことが要因かと考えている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価は前年同月比96%前後と低迷が続いている。少量や使い切りのものなど、無駄なく買物をする傾向が強い。衣料品についても、低価格で品質の良いものが増えているが、バーゲンにならないと動かない。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・チラシの価格をみると、強烈に値下げしてきている。当店も良くはないが、他店はもっと厳しいと推測できる。これから年末年始になるので、この傾向は強くなる。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・買上単価が上がらず、依然として厳しい。前年同月比でも芳しくない。余分なものを買わない志向が続いている。
スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・今月の前半はセール予告で数字が良かったが、月末までに失速している。累計では前月と変わらず推移する見込みである。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・物の行き来、人の行き来が良ならない限り、景気は良ならない。それを阻害するものを減らしていかない限り、むしろ、長期で低迷する可能性が高まっている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・当店の立地から考えて、夜の客がもう少し来店してくれればと思うが、最近は客足が良くない。特に、最終電車以降の時間帯は段々少なくなっている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客の来店回数が以前より少なくなっているうえ、客単価も落ち込んできている。今まで値段のことを言わなかった人も、値段を気にするようになってきている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売は、前年同月を大幅に下回り、厳しくなっている。エコカー補助金が終わり、販売台数が大幅に減少している。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・販売量の動きから判断して、良くも悪くも、上でも下でもなく、前月と変わっていない。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・輸入車に関しては、他メーカーと異なり、ディーゼルエンジン車の販売が好調である。全体的には輸入ディーゼルエンジン車ほど良いとは言えないが、比較的好調である。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、リフォーム・改修工事等が少しずつ出始めている。公共工事・民間の設備投資は少なめで、あまり変わらない。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・客は商品について、売り出し価格なのか定価なのか、どこよりも安いのかそうでないのか、よく見極めている。
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・相変わらず景気は低いレベルで推移しており最悪である。客の入りもさっぱりで、夜10時以降、客がいない状態である。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・総選挙を前に、今後の消費税増税などの問題がどうなるのか、様子見的な手控え感がある。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・前月に引き続き、訪日外国人についての影響は最小限に食い止めている。婚礼の大幅な減少も一般宴会で補い、なんとか予算は達成するものの、実績としては前年同月より低いいため、そうは喜べない。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテル宴会場を使っの法人営業は3か月前と変わらず推移している。低い所で横ばいの状況である。
タクシー運転手	来客数の動き	・11月末になっても、夜の繁華街に入出が少ない。12月のボーナスをあてに、11月末は忙しい時もあるが、今年は人出がない。今年はボーナスが20～30%減少という声を客からよく聞くため、そのせいもある。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数こそ増えてはいないものの、新規契約は依然として厳しい。新規契約者も、低価格サービスを選択する客が圧倒的に多くなっている。
美顔美容室（経営者）	お客様の様子	・今までホームケアを買上の客で、買い渋る人が増えてきている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・客のなかで、上手に節約しながらレジャー等を楽しむ傾向があるため、景気は良くなっているように見えるが、経済的には難しい。

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・業者発注価格がかなり上がってきている。しかし、受注価格は下降傾向にある。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・いまだ、新築住宅購入への意欲に積極性はない。
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	単価の動き	・1,000円以上商品と1,000円未満商品の販売比率が初めて逆転した。来客数・箱単位販売数の変化はあまり無いが、購買単価だけは落ちてきている。
	一般小売店[自然 食品](経営 者)	単価の動き	・販売量も前年同月に比べ減っており、単価の低いものへ移っている。
	一般小売店[時 計](経営者)	来客数の動き	・客単価が低い。
	一般小売店[食 品](経営者)	お客様の様子	・季節限定商品が比較的良好に売れており、前年同月の実績をなんとかクリアできそうである。しかし、前月に続き、来客数がもう一息のところまで達成できていない。客の話を聞いても、ボーナスは額の問題ではなく、出してもらえることで納得しているという厳しい現状がある。
	一般小売店[書 店](経営者)	単価の動き	・10月の悪さよりは持ち直しているが、客の購買行動は良くない。12月に総選挙が始まるが、政治家が右往左往していることから、客がどんどん白けている様子が見られ、期待が持たない。この総選挙が良いのかどうか、心配になっている。欲を言えば、この総選挙で皆の気持ちが変わってほしい。
	一般小売店[贈 答品](経営 者)	お客様の様子	・11月はお歳暮の早期キャンペーンによる早取りの期間である。例年では、安いと早く来てたくさん買うというように、防衛面で早期に利用されていたが、今年は自粛傾向がある。客の来店が少なくなり、買い控えや、付き合いを減らす傾向が強まっている。個人、法人共に贈答品の贈の部分にセーブしている。残念だが全体的に売上が3か月前から減っている。
	百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・今月前半は結構良かったが、後半になると買物をする客が少ない。連休の時、お歳暮を買いに来る客が、自分のものは買わずにお歳暮のみ買っているようで、紙袋を持っている客が少ない。
	百貨店(経理担 当)	販売量の動き	・11月の衣料品販売は、前半は好調であったが、後半には失速し、全体としては10月に続き良くない。食品は、おおむね好調である。
	百貨店(販売担 当)	お客様の様子	・ついでに買い、衝動買いのような、目的のない購買は引き続き厳しい。目的のあるものに関しても、吟味し、絞り込んで、さらに値段も考えての購買になっている。生活を楽しむというよりも、生きていくために最低限必要なものを購入している状況になっている。
	百貨店(販売担 当)	販売量の動き	・ボーナス需要が少なく、また、客単価も低い。製造業の中国問題による影響が大きい。
	百貨店(経営企 画担当)	お客様の様子	・スーパーなどの値下げが激しくなるなかで、百貨店の衣料品に関する動きが鈍くなっている。価格に対する消費者の意識がさらに強まっており、販売単価が下がっている状況である。
	スーパー(経営 者)	お客様の様子	・今月20日頃から冬物商戦が始まったばかりなのに、売上不振のため、早くもディスカウントセールが始まっている。地元で人気のうどん屋では、色々な割引があり、少しでもお買得になるよう努力している。また、総選挙が予定され、レストラン等に行く人が少なくなっていると店主が言っている。消費の低迷が進み、今月の景気は良くない。
	スーパー(経営 者)	お客様の様子	・中小顧客であるスーパーや八百屋が、皆11月に入り来客数、客単価共に数%落ち、売上が2けた減少というところが多いと聞く。
	スーパー(店 長)	単価の動き	・単品単価の下落がまだまだ止まっていない。それをカバーする点数が増加していないため、客単価も下がっている。また、高額商品についてはさらに動きの悪い状態である。
スーパー(店 員)	単価の動き	・この地方の名産である富有柿を贈答品として贈る客が数多く見受けられ、売上増加の一端を担っている。みかんも低価格傾向なので、買い渋る気配はなさそうである。	
スーパー(店 員)	単価の動き	・単価の安いものだけを選んで買物をしている状況が続いている。	

スーパー（店員）	販売量の動き	・買物に来ている客が、必要なものを必要なだけしか買っていかない。1人当たりの買上点数が、3か月前と比べて少し減っている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・近くに競合店ができてから、土日の客がめっきり減っている。
スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・低価格プライベートブランドを投入したカテゴリーは買上点数が上昇しているが、単価が下がって結果的に売上につながっていない。満遍なく売上が減っており、厳しい状況が続いている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は前年同月を下回り、客は価値があると感じる商品しか購入しない傾向がある。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新店オープンしても、想定している来客数をなかなか呼び込めない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・キャンペーン等により、単価の下げ止まりができていない。しかし、特に10月から来客数減少が大きく影響し、売上が下降傾向である。
家電量販店（店員）	単価の動き	・全体的に景気が悪くなってきている。単価競争や同業者間の競争が熾烈になっている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・購買意欲の低下がうかがえる。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・軽自動車需要そのものは衰えていない。しかし、3か月前はエコカー補助金がまだ有効だったので駆け込み需要があったが、現在はそれもない。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・全体的に良くない。客の様子から言っても、景気が良くない。車を進んで買おうという人が少ない。前月に引き続き良くない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月に入って車の受注台数が前年同月割れとなり、目標未達を起している。来客数も前年同月に比べて落ち込んでいる。大型車種も売れず、3月の決算セールを前に買い控えている様子もうかがえるので、しばらくは厳しい状況が続く。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了以降、来客数が増えない。客は、今の景気では、事故で車がつぶれるような事でもなければ、なかなか車を買換えようとは思えないと言っており、環境の厳しさを実感する。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了による反動が起こっている。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・月ごとの変動をならしてみると、夏以降、来客数は減少傾向にある。前年夏の放射能問題による来客数減少の反動増という要因も無くなり、来客数・客単価共に前年同月並みの水準で止まっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・繁華街は人通りも少なく、景気が悪いなか、客の財布のひもは依然として固いままである。個人客も最近では利用回数が減ってきている状態で、売上は減る一方で良くない。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前は8月で、夏休みの家族客が新東名を使って来たため、1か月間で伸びがあった。しかし最近になり、総選挙に対しての様子見なのか、客足が鈍くなってきている。3か月前と比べてやや悪くなっている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・客の予約の直近化傾向が強まっている。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・客の動きも悪い上に、単価の安いものが集中している。その反面、高額な商品も売れているので、旅行の客層も上下に分かれ、中間層がいない。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・年末年始の旅行受注は、例年になく好調であったが、ここにきて客の都合による大口のキャンセルが発生している。原因は、客の会社が中国問題で受注が激減し、見通しが全く立たないためだという。キャンセル料を払ってでも、キャンセルした方がよいという判断である。このような事例も発生しているので、単に年末年始の受注が増えたからと言って、景気は上向いてはいない。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・受付方法を少し変えたこともあるが、年末年始にかけての帰省を含めた旅行自体が、減っている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・しばらくは底辺での横ばいという感じであったところへ、年内総選挙が決まったことにより、官公庁の忘新年会や職員旅行などの団体旅行が減少し、一般の旅行意欲も低下している。海外旅行も、中国を中心に減少したまま戻ってこない。

	タクシー運転手	来客数の動き	・昼間のタクシー利用も減少してきている。例年11月20日以降に始まる忘年会もほとんど目立たず、夜の繁華街は活気がなく静かである。
	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず夜の客の動きが悪い。振り返ると、お盆以降売上が0.5%~10%ほど、ずっと落ち込んでいる状態が続いている。
	通信会社（営業担当）	それ以外	・街中にも活気が無く、新聞紙上でも明るさを感じる記事がほとんど見当たらない。国道端でもガソリンスタンドでも、閉鎖している場所も多く、大人の遊技場と言われるパチンコ店も、あちこちに閉店した店が見受けられる。
	通信会社（営業担当）	単価の動き	・現在、固定電話の廃止が増加していることにより、売上が減少している。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今月は来客数、客単価共に下げた状況である。天候等の要素もあったものの、やや悪くなっている。
	観光名所（案内係）	お客様の様子	・特にいつもと変わりはないが、来客数が減っている。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪い。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・客があまり来てくれない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量が落ちている。他社の動きは不明なので、業界的に減少しているのかは不明であるが、例年同月より落ち込んでいる。
	その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	お客様の様子	・来客数は変わらないが、商談がなかなか良いところまでいかない。物件は探す、なかなか決めない状況の客が多い。消費税率が上がるまでに決めればよいと、長いスパンで考えているようである。
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・発注の件数、売上共に激減している。例年、11月は比較的売上の多い月であったが、もう過去のことであり、今後はそのような傾向もなくなるのだろう。仕入先の営業担当の話でも、売上は相当減っているようである。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・とにかく来客数が少なく、販売量が非常に減少している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の前年同月比が月を追うごとに悪くなっている。競合店ができた店舗はもちろん、周辺の環境が変わっていない店舗でも、前年割れが出てきている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数と共に客1人当たりの買上単価が低下している。これは、寒くなってきて飲料水が出なくなったためである。
	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が激減している。10年以上商売をしていて、全く何も売れない日があったのは初めてである。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・政治が落ち着かず、世の中が不安定な状態であるため、客の買い控えが起きている。エコポイント終了による谷から徐々に回復基調にあったところに、経済が悪化傾向に向き始めているようで、非常に危機感を覚える。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金が終了してからは、売行きがガタンと落ち込んでいる。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	それ以外	・前月に比べると、特に売上は落ちている。消費者の低価格志向は変わっておらず、同乗者も悲鳴を上げている。次の与党に期待している。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	・近所の喫茶店の経営者がもう仕事を止めたいとこぼしている。全く来客がなくなってしまっている。企業数も半減しているし、当社も客単価がどんどん下がっており、旅行業自体が成り立っていない。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・中国人の入場者はほとんどない。日本人の団体客もほとんどない。
	美容室（経営者）	それ以外	・今までにないほど今月は暇である。何が原因かさっぱり分からず困っている。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・景気も良くなく、将来の不安で、客がお金を使わなくなっている。
	理美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず景気の悪い話はない。どんどん安い店に流れる。
住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・売行きが悪い。単価を下げて今一つの状況である。	

企業 動向 関連	良く なっている	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・年末にかけて、パワーカー業界の設備投資・新店計画が増えたために、受注量が増える。特に当社商品の販売が多くなっている。
	(東海) やや良く なっている	紙加工品〔段 ボール〕製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・中国向け自動車部品梱包用段ボールの販売量が急激に減少していたが、11月に底を打ち、12月中旬からの受注見込みがやや回復している。
一般機械器具製 造業（経理担 当）		受注量や販売量 の動き	・海外の電子部品メーカー及び電気部品メーカーの動きが、底を打っている。	
輸送用機械器具 製造業（品質管 理担当）		取引先の様子	・客先の生産計画スケジュールから判断して、やや良い。	
経営コンサルタ ント		取引先の様子	・中古の売れ残り住宅が、ずいぶん取引されてきている。消費税増税前の駆け込み需要の動きがはっきり見られる。	
その他サービス 業〔ソフト開 発〕（社員）		取引先の様子	・大手自動車メーカー系の客において、IT開発が継続して発生している。	
変わらない	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・忘新年会企画で広告掲載した飲食店では、年内総選挙が決まって以降、忘年会の予約キャンセルが入っている。行政関係の客は特に顕著であるという。こんな所にも、総選挙による経済へのマイナス効果がある。	
	化学工業（総務 担当）	それ以外	・震災関係の需要が、売上を増やしている。	
	化学工業（企画 担当）	受注量や販売量 の動き	・国内受注が月割り予算を下回る傾向は、変わっていない。欧州での売上は低調である。米国及び中国のみ予算を上回っているが、中国に関しては政情から、予測できない部分が多い。	
	化学工業（人事 担当）	受注量や販売量 の動き	・日本では後発薬への信頼性の不安から、海外と比べ普及がスローであったが、最近は値段が安いことを重視し、新薬から後発薬への切替えが徐々に増えてきている。	
	窯業・土石製品 製造業（社員）	取引先の様子	・取引先の中には、稼働率が半分に落ち込んでいるところがあり、全体的には20%ほど落ち込んでいる印象がある。中国への輸出が、先方でストップしているという話も多い。	
	鉄鋼業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・通常の年であれば、他の月に比べて月商が1割から2割程度多く見込める月であるが、本年はほとんど横ばいであり、実質的には売上減少になっている。	
	金属製品製造業 （従業員）	受注量や販売量 の動き	・工場の生産能力を上回る受注が入っているが、その傾向がこの2年間は特に顕著である。製造元が減っているかと思う。その割には価格上昇が見えてくず、安値受注が横行している。	
	一般機械器具製 造業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き	・北米市場では10月から新会計年度が始まったが、引き合い件数も増えず、受注金額がかつてないほど低調なまま推移している。中国を始めとするアジア市場も、引き合い件数、受注金額共に低調である。	
	電気機械器具製 造業	取引先の様子	・設備投資意欲は停滞している。	
	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・不動産開発業では、マンション・戸建共に来場者数が一時期より少し停滞気味である。	
	建設業（営業担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・入札関係等の雇用費及び処分費の設定値が、1%弱ずつ下がっている。	
	輸送業（エリア 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・売上金額で前年は9.8%減少、今年は0.9%減少となり、前年同月比較で8.9ポイント良くなったように見えるが、前年の10月からは売上の伸び率が止まってしまっている。今年の7月からは前年同月割れが続いている。	
	輸送業（エリア 担当）	受注量や販売量 の動き	・3か月前のお盆の時と比べ、今の荷物の取扱量は変わっていない。景気は3か月前と変わらず、悪いままである。	
	金融業（企画担 当）	取引先の様子	・為替が円安方向に進んでおり、企業業績へのプラスの影響や個人投資家の投資意欲も回復しつつあるが、上向きというほどでもない。	
	不動産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・総選挙に絡み、問い合わせ等が減っている。	
	不動産業（管理 担当）	取引先の様子	・ここ3か月全く動きがなく、以前と変わらない。	
	不動産業（開発 担当）	受注量や販売量 の動き	・一部消費税増税に向けた駆け込み需要の動きがあるものの、政府施策が不透明ななかで、現時点において特に大きな変化は感じられない。	

	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・出稿量等はそれほど変わっていないが、受注があっても見積の時点で金額を削られてしまう状態が続いている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・例年11月はチラシが最も多い月であるが、10%ほど減っている。
やや悪くなっている	食品品製造業（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・依然としてデフレ状況が継続し、店頭価格の下落と原材料価格高騰の間で、収益が圧迫されている傾向がますます強い。先行きも不透明感が続き、コスト削減にも限界がある。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特に中国問題の悪化により中国向けが悪く、それに伴い、関連する受注量・販売量が減少している。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・欧州向けの販売は低迷したままであるし、加えて、中国での売上也減少している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・中国問題などで影響が出始めている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・総合スーパーやホームセンター向けの物量が低迷しており、さらに単価の低いものの割合が多いために、売上也減っている。消費者の買い控えが顕著なためと思われる。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・中国関係の貨物が減っている。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・7～9月のGDP3.5%減、輸出5%減、設備投資3.2%減（米国の大手金融機関の破たん時は5.5%減）、貿易赤字5,000億円、生活保護215万人等の情報から、やや悪い。
	金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・エコカー補助金終了に伴い、国内自動車販売の反動減による地元自動車メーカーの生産減少を映じ、部品メーカーの受注も減少している。
		公認会計士	それ以外
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・小売店の販売形態がネット販売に主力を置くようになってきた。特に食品関係では原価を切った販売が目立っている。ネット販売は今後さらに注目を浴びる形態であり、競争激化は間違いない。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・大手自動車メーカー関連の企業が休業を実施している。自社が自動車関連の製品を作っていると意識していないくらいの下請企業も多いが、どこも受注が減少している。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・飲食店は、安い店には客がいるが少ない。日本全体に不況感が蔓延している。各工場においても、生産は7割ほどしか戻ってきていない。年末に向け少しは上昇すると思うが、経営的には非常に厳しい状態である。
悪くなっている	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・もともと欧州向けが出なかったため景気が悪かったところへ、尖閣諸島問題があり、日本から中国向けの物の流れが止まっている。そのため景気が悪くなっている。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の物流や中国関係の物流が低調である。名古屋港でコンテナを扱う会社から、仕事が減って給料が減ったため転職をしないと、在職中のドライバーが面接に応募してきたことから、物流は低調であると言える。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車関連の会社が多いが、中国問題の影響か、生産自体を減らしたり、月で数日の休みをつくったりして、稼働させていない会社が多くなってきている。今後の見通しも立っておらず、景気は明らかに悪い。
	その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・低迷状態がずっと続いているが、特に今月は全くと言ってよいほど動きがない。
雇用関連 (東海)	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き

	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・新卒の内定率からも類推されるように、雇用状況がやや改善に向かっている。
	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・3か月前と比べて、求人数は170%増加、季節要因を差し引いても120%増加している。2か月連続での増加傾向であり、やや改善が見られる。
変わらない	人材派遣会社 (経営企画)	採用者数の動き	・客からの需要はおう盛であるが、採用市場は売手市場となっており、当社基準を満たす優秀な人材の採用競争が、厳しくなっている。
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・当地では、ほとんど求人動きがない。名古屋・東京・大阪ではある程度あるが、地方にはほとんどないのが現状である。
	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・県内の大手メーカーの工場閉鎖により、失業者が増加する見込みである。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・消費税増税の動きに対する、金融業界の固定費削減による雇用抑制や、中小企業金融円滑化法の終了の影響で、やや悪い。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・企業の早期退職制度を利用した、早期退職者の数が増えている。
	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・取引先の手電機メーカーからの技術者派遣の引き合いの減少に加え、自動車メーカーの技術投資が抑制されている傾向が感じられる。
	アウトソーシング企業 (エリア担当)	それ以外	・エコカー補助金が終了し、新車販売台数の伸び悩みに伴って自動車の生産調整が行われているため、景気はやや悪くなっている。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・医療、看護、介護系以外の求人件数は、総じて減少傾向にある。特に製造業の求人は厳しい状況にある。
	職業安定所 (所長)	求人数の動き	・新規求人数は、前月と比較して約10%程度減少している。自動車部品等の製造を行っている4次、5次下請事業所は、円高や海外の諸事情の影響を受けて取引先からの受注が10%以上減少しており、新規求人の提出には、より慎重になっている。一方、介護・福祉関係の新規求人は増えているものの、増加幅の減少が見られる。
	職業安定所 (職員)	それ以外	・雇用保険受給申請者数が、前年同月比で3か月連続増加している。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・求職者は9月、10月、11月と増えている。周辺企業で、人員整理等により希望退職者が増えている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・卸売・小売・製造派遣を除く派遣等の求人は、横ばいからやや増加傾向にあるが、製造業は大幅に減少している。正社員の比率は全体の半分を大きく割りこみ、45%程度まで落ち込んでおり、契約・派遣社員の比率が上がっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・正社員求人が減り、パート求人が増えている状況で、なかなか求人数は増えていない。中小企業緊急雇用安定助成金や雇用調整助成金の再開、新規利用に関する問い合わせが、窓口や電話でも増えてきている。
職業安定所 (次長)	求職者数の動き	・10月の当ハローワークへの新規求職申込件数が、3か月ぶりに前年同月比で増加し、有効求職者数は、平成22年1月以来2年9か月ぶりに前年同月比増加に転じた。新規求人数及び有効求人数は、引き続き前年同月比増加が続いているが、増加幅が縮小傾向にある。	
悪くなっている	新聞社 [求人広告] (営業担当)	それ以外	・底堅い部分もあるものの、ハローワークで求人がまかなえ、民間求人媒体まで回ってこないケースも目立ってきている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職者が増加している。20~44歳については、自己都合による退職者が増加、45~64歳については事業所都合による離職者が増加している。また、50~64歳は在職中の新規求職者が増加している。まとまった人数の企業整備は今のところ見られないことから、中小企業において中高年層からリストラが始まっていると思われる。